

項目の算出方法  
 <現況指標>

No.	項目	算式	決算統計調査表対応算式
1	経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	$\frac{H(20)G(1)R(1) - H(20)G(1)R(45)}{H(20)G(1)R(23) - H(20)G(1)R(49)} \times 100$
2	医業収支比率 (%)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	$\frac{H(20)G(1)R(2)}{H(20)G(1)R(24)} \times 100$
3	流動比率 (%) (団体ごと)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{H(22)G(1)R(12)}{H(22)G(1)R(25)} \times 100$
4	医師 1 人 1 日 当たり診療収入 (千円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{入院収益} + \text{外来収益}}{\text{年延医師数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(3+4)}{H(27)G(1)R(13)}$
5	看護師 1 人 1 日 当たり診療収入 (千円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{入院収益} + \text{外来収益}}{\text{年延看護部門職員数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(3+4)}{H(27)G(1)R(14)}$
6	入院患者 1 人 1 日 当たり診療収入 (円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(3)}{H(09)G(1)R(30)} \times 1,000$
7	外来患者 1 人 1 日 当たり診療収入 (円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(4)}{H(09)G(1)R(32)} \times 1,000$
8	検査技師年間 1 人 当たり検査収入 (円)	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年度末検査技師数}}$	$\frac{H(27)G(1)R(21) + H(27)G(1)R(31)}{H(27)G(1)R(15)}$
9	放射線技師年間 1 人 当たり放射線収入 (千円)	$\frac{\text{放射線検査収入}}{\text{年度末放射線技師数}}$	$\frac{H(27)G(1)R(22) + H(27)G(1)R(32)}{H(27)G(1)R(16)}$
10	患者 1 人 1 日 当たり医師給与費 (円)	$\frac{\text{医師給与費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{H(25)G(1)R(20) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
11	患者 1 人 1 日 当たり看護師給与費 (円)	$\frac{\text{看護部門職員給与費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{\{H(25)G(1)R(31) + H(25)G(2)R(2)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
12	患者 1 人 1 日 当たり職員給与費 (円)	$\frac{\text{職員給与費 (医師、看護部門を除く)}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{\{H(25)G(1)R(9) + H(25)G(2)R(13) + H(25)G(2)R(24)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
13	患者 1 人 1 日 当たり薬品費 (円)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{H(21)G(1)R(22) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
14	患者 1 人 1 日 当たり経費 (円)	$\frac{\text{経費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{H(28)G(1)R(10) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
15	患者 1 人 1 日 当たり資本費 (円)	$\frac{\text{資本費 (減価償却費 + 支払利息)}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{\{H(21)G(1)R(7) + H(21)G(1)R(11)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
16	患者 100 人 当たり職員数 (人) (~平成 10 年度 新看護等実施・非実施別)	$\frac{\text{年延職員数}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(25)G(2)R(27) \times 30 \times 100}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
17	患者 100 人 当たり看護師数 (人) (~平成 10 年度 新看護等実施・非実施別)	$\frac{\text{年延看護部門職員数}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(27)G(1)R(14) \times 100}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
18	給与費指数	$\left( \frac{\text{当該病院職員平均給与}}{\text{当該病院職員平均年齢}} \div \frac{\text{当該病院類似病院平均給与}}{\text{当該病院類似病院平均年齢}} \right) \times 100$	$\frac{H(25)G(2)R(35) \times 1,000}{H(25)G(2)R(27)} \div \frac{H(25)G(2)R(36)}{H(25)G(2)R(28)} \times 100$
19	平均年齢 (歳)	$\frac{\text{年度末職員延年齢}}{\text{年度末職員数}}$	$\frac{H(25)G(2)R(36)}{H(25)G(2)R(28)}$
20	設備投資効率 (団体ごと)	$\frac{\text{医業収益 (全病院の計)}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{H(20)G(1)R(2)}{H(22)G(1)R(2)}$
21	病床利用率 (%) (一般病床のみ)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延稼働病床数}} \times 100$	$\frac{H(27)G(1)R(1)}{H(31)G(1)R(1)} \times 100$
22	外来入院患者比率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	$\frac{H(09)G(1)R(32)}{H(09)G(1)R(30)} \times 100$
23	平均在院日数 (日)	$\frac{\text{年延在院患者数}}{1/2 \times (\text{年度中の新入院患者数} + \text{退院患者数})}$	$H(31)G(1)R(37)$
24	医師 1 人 1 日 当たり患者数 (人)	$\frac{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}{\text{年延医師数}}$	$\frac{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}{H(27)G(1)R(13)}$

(注) 決算統計調査表対応算式中の「H」は表、「G」は行、「R」は列を表わす。

No.	項 目	算 式	決 算 統 計 調 査 表 対 応 算 式
25	看護師 1 人 1 日 当たり患者数 (人) (～平成10年度 新看護等実施・非実施別)	$\frac{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}{\text{年延看護部門職員数}}$	$\frac{\text{H (09) G (1) R (30)} + \{0.4 \times \text{H (09) G (1) R (32)}\}}{\text{H (27) G (1) R (14)}}$
26	職員給与対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H (20) G (1) R (25)}}{\text{H (20) G (1) R (2)}} \times 100$
27	薬品費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H (21) G (1) R (22)}}{\text{H (20) G (1) R (2)}} \times 100$
28	経費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{経 費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H (28) G (1) R (10)}}{\text{H (20) G (1) R (2)}} \times 100$
29	資本費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{資本費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H (21) G (1) R (7)} + \text{H (21) G (1) R (11)}}{\text{H (20) G (1) R (2)}} \times 100$
30	薬品使用効率 (%) (～平成5年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{薬品収入}}{\text{薬品費}} \times 100$	$\frac{\text{H (27) G (1) R (37)}}{\text{H (21) G (1) R (22)}} \times 100$
31	不良債務比率 (%) (団体ごと)	$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{医業収益 (全病院の計)}} \times 100$	$\frac{\text{H (22) G (1) R (25)} - \{ \text{H (22) G (1) R (12)} - \text{H (23) G (1) R (14)} \}}{\text{H (20) G (1) R (2)}} \times 100$
32	企業債元利償還金対料金収入比率 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	$\frac{\text{H (21) G (1) R (9)} + \text{H (23) G (1) R (36)}}{\text{H (20) G (1) R (3 + 4)}} \times 100$
33	利子負担率 (%) (団体ごと)	$\frac{\text{支払利息 (全病院の計)} + \text{企業債取扱諸費 (全病院の計)}}{\text{固定負債} + \text{借入資本金} + \text{一時借入金}} \times 100$	$\frac{\text{H (20) G (1) R ((38) + (39))}}{\text{H (22) G (1) (R (20) + R (21) + R (22) + R (26) + R (36))}} \times 100$
34	患者 1 0 0 人 当たり他会計繰入金 (千円)	$\frac{\text{他会計繰入金 (経常収益分のみ)}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{\text{H (20) G (1) (R (13) + R (20) + R (21))}}{\text{H (09) G (1) R (30)} + \{0.4 \times \text{H (09) G (1) R (32)}\}} \times 100$

(注) 決算統計調査表対応算式中の「H」は表、「G」は行、「R」は列を表わす。

## < 状況変動指標 >

No.	項 目	算 式	変 化 率 算 出 算 式
1	経常収支比率変化率	現 況 指 標 に 同 じ	(当年データ) - (前年データ)
2	医業収支比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
3	流動比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
4	医師 1 人 1 日 当たり診療収入変化率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
5	看護師 1 人 1 日 当たり診療収入変化率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
6	入院患者 1 人 1 日 当たり診療収入変化率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
7	外来患者 1 人 1 日 当たり診療収入変化率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
8	検査技師年間 1 人 当たり検査収入変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
9	放射線技師年間 1 人 当たり放射線収入変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
10	患者 1 人 1 日 当たり医師給与費変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
11	患者 1 人 1 日 当たり看護師給与費変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
12	患者 1 人 1 日 当たり職員給与費変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
13	患者 1 人 1 日 当たり薬品費変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
14	患者 1 人 1 日 当たり経費変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
15	患者 1 人 1 日 当たり資本費変化率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$

No.	項目	算式	変化率算出算式
16	患者100人当たり職員数変化率 (～平成10年度 新看護等実施・非実施別)	現況指標に同じ	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
17	患者100人当たり看護職数変化率 (～平成10年度 新看護等実施・非実施別)	〃	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
18	給与費指数変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
19	設備投資効率変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
20	病床利用率変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
21	医師1人1日当たり患者数変化率	〃	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
22	看護師1人1日当たり患者数変化率 (～平成10年度 新看護等実施・非実施別)	〃	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
23	職員給与費対医業収益比率変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
24	薬品費対医業収益比率変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
25	経費対医業収益比率変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
26	資本費対医業収益比率変化率	〃	(当年データ) - (前年データ)
27	薬品使用効率変化率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	〃	(当年データ) - (前年データ)
28	患者100人当たり他会計繰入金変化率	〃	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$

注) 。類似病院の平均給与月額、平均年齢は次のとおりである。

(上段：平均年齢(歳)、下段：平均給与月額(円))

年度		年度						
10		11	12	13	14	15	16	
病床規模	41	41.2	41.7	42.2	42.5	42.9	43.3	
100床未満の病院	598,899	599,764	606,015	608,039	595,268	585,437	596,677	
100床以上300床未満の病院	39	40.7	41.3	41.4	41.8	42.0	42.4	
300床 # 500床	612,197	598,887	598,109	598,101	590,007	578,654	575,521	
500床以上の病院	38	40.2	40.4	40.7	40.9	40.8	41.0	
	621,420	596,459	594,802	560,698	584,559	571,082	570,880	
	37	39.1	39.1	39.4	39.7	39.5	39.7	
	634,594	624,423	620,286	603,045	613,412	597,456	594,387	
		38.0	38.3	38.5	38.6	38.6	38.7	
		617,465	615,718	616,951	607,666	593,974	593,389	
		38.3	38.5	38.7	39.0	38.9	38.9	
		625,887	627,290	631,370	624,427	609,307	608,340	
		37.8	37.9	38.3	38.4	38.4	38.5	
		632,521	630,335	634,049	624,772	612,427	613,441	

### <医療指標>

No.	項目	算式	決算統計調査表対応算式
1	患者100人当たり施設面積 (㎡)	$\frac{\text{延面積}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(09)G(1)R(17)}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
2	患者100人当たり器械備品額 (円)	$\frac{\text{器械、備品額}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(28)G(1)\{R(27) - R(31)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
3	患者100人当たり有形固定資産 (円) (団体ごと)	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{入院患者数} (\text{全病院の計}) + (\text{外来患者数} \times 0.4) (\text{全病院の計})} \times 100$	$\frac{H(22)G(1)R(2) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
4	患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$\frac{\text{室料差額対象病床数}}{\text{入院患者数}} \times 100 \times \text{診療日数}$	$\frac{H(27)G(1)R(46)}{H(09)G(1)R(30)} \times 100 \times 365$
5	非木造面積比率 (%)	$\frac{\text{非木造面積}}{\text{延面積}} \times 100$	$\frac{H(09)G(1)R(14+15)}{H(09)G(1)R(17)} \times 100$
6	患者100人当たり医師数 (人)	$\frac{\text{年延医師数}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(27)G(1)R(13)}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
7	入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$\frac{\text{入院患者年延手術件数}}{\text{年延入院患者数}} \times 1,000$	$\frac{H(31)G(1)R(52)}{H(09)G(1)R(30)} \times 1,000$
8	研究研修費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{研究研修費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{H(28)G(1)R(17)}{H(20)G(1)R(2)} \times 100$

9	剖 検 率 ( % )	$\frac{\text{年延検体数}}{\text{院内死亡者数}} \times 100$	$\frac{H(31)G(1)R(39)}{H(31)G(1)R(54)} \times 100$
---	-------------	---	--

注) 決算統計調査表対応算式中「H」は表、「G」は行、「R」は列を表す。

### 数値以外の医療指標の評点算出

#### ◦ 特殊診療

以下の診療のうち、実施しているものの数により評点を算出する。

人間ドック、人工透析、ICU、CCU、NICU、未熟児室、運動機能訓練室、ガン（放射線）診療

#### ◦ 指定病院

以下について、当該病院が指定を受けている数により評点を算出する。

へき地中核病院、救命救急センター、臨床研修指定病院、日本内科学会内科専門医教育施設、日本麻酔学会麻酔指導病院、日本病理学会認定病院、日本臨床検査学会認定臨床検査医研修施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、（社）日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、（社）日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関、日本外科学会認定医修練施設、日本胸部外科学会認定医指定施設、日本胸部外科学会認定医関連施設、日本整形外科学会認定研修施設、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医認可研修施設、日本眼科学会専門医認定研修施設

#### ◦ 救急告示

救急体制の状況（A、B、B'、C、Dランク、無）により評点を算出する。

ランクづけは次のとおりである。

A……………11点      B……………7～10点      B' ………6点      C……………5点以下

次の各項目の合計得点により区分

1. 専用病床数	7床以上……………	3点
	4床以上7床未満……………	2点
	3床以下……………	1点
2. 待機体制	医師・看護師が各2名以上当直……………	6点
	〃      各1名以上当直……………	4点
	〃      待機……………	2点
	有事に出動……………	1点
3. 施設・設備	救急専用入口	} のうち2部門以上…………… 2点 1部門…………… 1点 なし…………… 0点
	〃 処置室	
	〃 手術室	
	救急用又は患者輸送用自動車	

#### ◦ 専門外来

糖尿病外来、高血圧外来、乳線外来等特定の疾病についての外来診療の実施の有無による。